

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 スペース・タイム・コンティニウム	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.530	△RG 0.042	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：スペース・タイム・コンティニウム

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

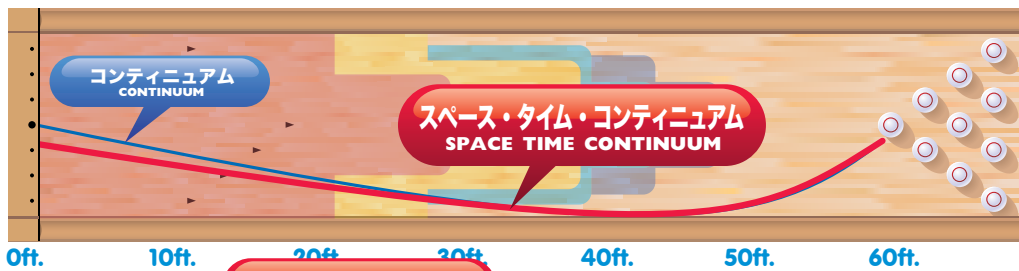
比較対照ボール：コンティニウム

フレアーの幅 インチ

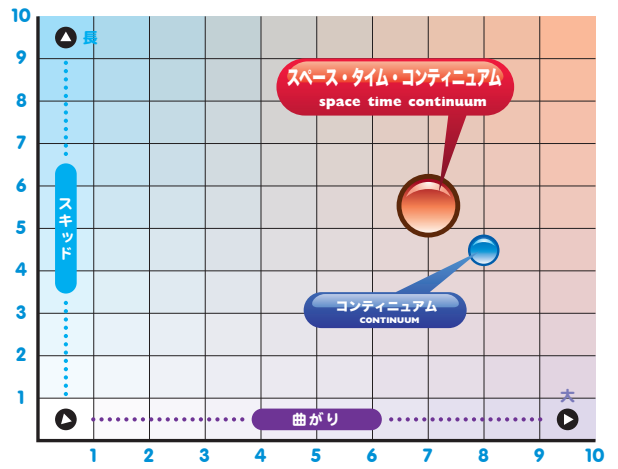
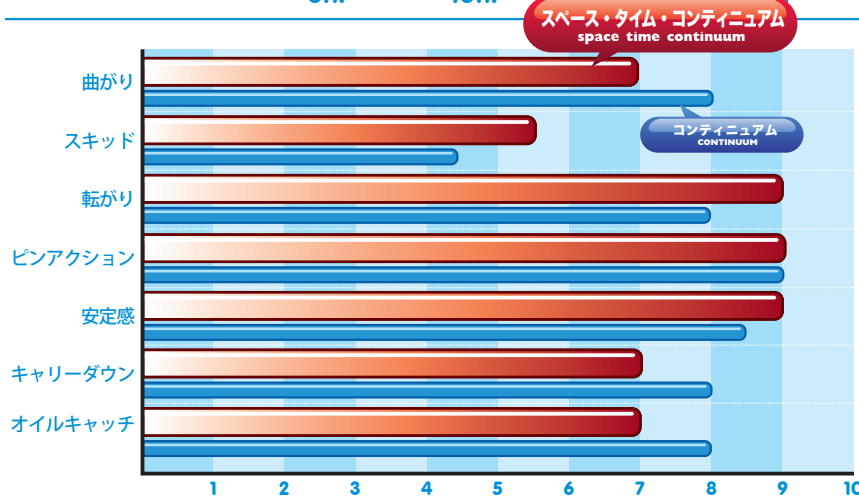
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

初代Continuumは900Global社の中でも強いS82 RX Hybridカバーストックを使い、Ellipticon Asymmetricコアという低RG、高Int.Diffを併せ持つ、“強いカバーと強いコア”との組み合わせでした。EON Infiniteで解説の通り、日本のオイルパターンと環境に適したハイパフォーマンスボールとして900Global社が新たに答えを出したのがこのSpace Time Continuumです。Sphericon LD AsymmetricコアはContinuumにあるEllipticonコアと同じ形状をしています。密度をより高いRGと低いInt.Diffに変更することで、Continuumで見られたレーン手前から強い転がるパワーはしなやかに奥で生きるようになり、EON Infiniteで採用された S71 Re-LoadedカバーストックのPearlバージョンでミディアムからミディアムヘビーまで幅広く使用して頂けます。初代Continuumは性能がより良く発揮できるコンディションが狭かったのですが、コアの数値の調整からカバーストックの見直しを経て、極端にオイルが多かったり少なかったりしなければほぼ使用できるほど、その領域の広さには驚くほどです。また数値変更でEllipticonコアには見られなかったバランスの良い曲がりにはまさに日本のコンディションでマッチした仕上がりで、コアによるパワーロスも起き上がり不足もなく、コアとカバーストックのマッチングの素晴らしさが光る仕上がりだと言えます。

投球して実感したのはS71 Re-Loaded Pearlカバーストックは今までBadgerで感じたS71カバーストックと比べ、明らかにオイルに対しての強さは格段に増していることです。Hony BadgerやBadger、EON InfiniteやこのSpace Time Continuumを投球して頂ければ、ユタ工場とサンアントニオ工場と同じ材料を使い、製法の差だけなのがパフォーマンスで実感できるでしょう。ぜひ日本向けに調整されたパフォーマンスの神髄をお試しください。

特記事項

初代Continuumとはイメージもガラリと変わり、使用領域の広さと転がりの強さを感じます。900Globalファンには欠かせない、最新のテクノロジーボールです。